

**「新しい東北」官民連携推進協議会
令和4年度 岩手県意見交換会（第1回）議事概要**

令和4年8月9日

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

【日 時】令和4年8月9日（火）10:00～12:00

【場 所】復興庁岩手復興局 5階会議室（釜石）／オンライン

【出席者】（敬称略）

<副代表団体>（所属の五十音順）

岩手銀行／岩手県／特定非営利活動法人 いわて連携復興センター

<今年度の意見交換会テーマに関する団体（主団体）>

一般社団法人 浄土日和

<復興庁>

復興庁 復興知見班／復興庁 岩手復興局

<事務局>

株式会社JTB

【議事概要】

1 開会

復興庁より、今年度の意見交換会においても忌憚のないご意見を頂きたい旨、挨拶した。

2 各団体の活動紹介

各参加団体より、取組紹介資料をもとに取組を紹介した。

3 令和4年度のテーマ、取組内容等について

事務局より、資料1をもとに今年度の取組テーマ、取組内容案等を説明した。また、一般社団法人浄土日和より、参考資料1をもとに当団体の活動内容について説明した。

4 意見交換

(1) 令和4年度のテーマ、取組内容案について

令和4年度のテーマを「関係人口を活用した持続可能な地域づくり」とし、一般社団法人浄土日和を主団体としてエクスカーションプログラムを検討していくという方向性について異論は出なかったものの、取組の具体的な内容のイメージがわからないといった意見が挙げられた。このため、次回の意見交換会の開催に向けて、事務局案を整理の上、事前に資料について協議することとした。

(主な意見)

- ・「みちのく潮風トレイル」は青森県八戸から福島県相馬までの沿岸線を歩く道として、2019年6月に1,000kmの長い道が設定された。ロングトレイルというジャンルに入り、欧米を中心にアジアでも知られているため、コロナ前までは外国人の利用者が非常に多かった。ロングトレイルは国内に10カ所以上あるが、このように官民一体で組織化されて活用しているところはあまりない。この「みちのく潮風トレイル」を活用することで、海外などからの観光客が見込める。また、何より地元の方が歩くことによって自分の地域を知ることが最大の魅力だと考えている。「みちのく

「潮風トレイルを通して地域を知る」ということを最大のテーマにできればと考えている。

- ・「みちのく潮風トレイル」は、岩手県では久慈あたりから南は名取までビジターセンターのネットワークがつながっている。今までの意見交換会の経緯から、広域で連携できる取組の方が良いのではないかといった意見が出ていたことを踏まえ、また「みちのく潮風トレイル」は三陸の復興の象徴的な部分もあることから、今回のテーマ設定としている。盛岡や仙台では大規模な会議が多く開かれており、会議に訪れた方々や「関係人口」という意味では過去にボランティア等で来られた方々に「みちのく潮風トレイル」を活用したエクスカーションプログラムを提供できればと考えている。
- ・非常に重要なテーマだと思う。こういった取組をすることに全く異論はない。ただ、実際にプログラムを走らせるところはまだイメージできていないところもあるので、その都度気がついた点があればお話しさせていただきたい。
- ・「交流人口」にはずっと取り組んでいるのでテーマとしては良いのかなと思う。ただ、説明はしていただいたがイメージがつかないので、なかなか意見が出づらいというのが正直なところだ。
- ・意見交換会の進め方について、少し混乱している。副代表団体としてもそれぞれ成し遂げたいことや課題感があるが、それは前回までに議論したという整理で、今回の取り組み内容案が出てきているものなのか。
- ・今回資料を拝見して初めて枠組みがわかったので、理解するための時間が十分ではなかったかなという気がしている。
- ・今回の取組案が唐突に出て来たものという印象であることは事実。今までとは違うタイプのもので未知の世界という感じもあるが、最終的に今回の取組テーマにつながるものだという整理ができれば、否定するものではないと思っている。
- ・エクスカーションプログラムに関しては、例えば洞爺湖サミットでの例など、何か「こういうものをやりたい」とイメージできるものを示していただけだと良い。その1つのメニューとして「みちのく潮風トレイル」を位置づけたいのだという具体的な話がわかれば、「こういう面で協力できるのではないか」という具体的な話に広がっていくと思う。

(2) 参画団体について

一般社団法人浄土日和より、三陸復興国立公園や「みちのく潮風トレイル」の管理運営に関わる団体等と連携したい旨の意見があった。具体的な参画団体に関しては、第2回意見交換会において具体的な取組内容案を説明する中で再度検討することとした。

(主な意見)

- ・三陸沿岸地域にある田野畠村の北山崎ビジターセンター、大船渡の碁石海岸インフォメーションセンター、「みちのく潮風トレイル」を統括している宮城県の名取トレイルセンターとは、今後プログラムを作る際に連携したいと考えている。岩手県内では3団体、名取を入れると4団体となる。
- ・今後は海外からの観光客が戻ると思うが、地元のガイドには英語ができる方もいるため、海外向けに翻訳したガイディングテキストの作成も考えている。既にいろいろな地域で震災復興等のガイドがあるが、意外にもマニュアルがあまり存在していない。ガイディングテキストを作成する際には、インバウンドのガイド依頼などで交流がある旅行関係の団体と連携するのもいいかなと考えている。
- ・今のところ推薦する団体は思いつかないので、また検討させていただきたい。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局より示したスケジュール案について特段の意見は示されず、参加団体の合意が得られた。

5 閉会

テーマ・取組内容案、主団体等について異論はなかったが、取組の具体的なイメージの共有に不十分な部分があったため、第2回意見交換会に向けて、事務局と主団体において取組内容案の検討を進めつつ、副代表団体とも協議を進めることとした。具体的な参画団体については、第2回意見交換会において具体的な取組内容案を説明し、再度検討することとした。

第2回意見交換会は10月を目途に開催することとし、具体的な日程については、改めて事務局より連絡することとした。

以上